

S&Pグローバル 日本サービス業PMI®

2月の新規受注の伸び率、22か月ぶりの高水準に

2026年2月

売上高が一段と強く増加し、事業活動の堅調な拡大を後押し

コスト圧力が強まる中、雇用の伸びは減速

販売価格、2014年4月以来最大の伸び

日本のサービス業によると、2月の事業活動は新規受注の加速した伸びに支えられ、引き続き堅調に拡大した。需要環境の改善を受け、企業は今後1年間の事業活動見通しに対して楽観的な見方を強めた。しかし、コスト圧力の強まりを背景に、セクター全体で雇用の伸びは減速した。同時に、サービス単価はほぼ12年ぶりの速いペースで上昇した。

S&Pグローバル日本サービス業PMIは、S&Pグローバルがサービス業約400社からの調査回答を基にまとめたものである。対象セクターには、消費者サービス(小売以外)、運輸、情報通信、金融、保険、不動産、ビジネスサービス等が含まれる。

主要指標はサービス業事業活動指数で、事業活動量が前月比でどう変化したかを示す。数値が50.0を超えれば全体として前月比で増加したことを、50.0を割り込めば減少したことを意味する。

2月の主要指数は53.8と、2026年初頭の53.7からにわずかに上昇し、日本のサービス業の事業活動が11か月連続で拡大したことを示した。成長率は2024年5月以来最大で堅調だった。詳細なセクター別データによると、事業活動は金融・保険セクターを筆頭に調査対象の5サブセクターすべてで拡大した。

日本のサービス業全体の事業活動を押し上げた要因は、総新規受注の持続的な増加だった。特に、新規受注の伸びは2024年4月以来最も顕著だった。多くの企業は、需要環境の改善や新規顧客の獲得が売上高を押し上げたと指摘した。基礎データによると、海外からの新規受注の伸びが鈍化しわずかな増加にとどまる中、主に内需の成長が伸びを牽引した。

顧客需要の増加は続いたものの、雇用の伸びは第1四半期の半ばに減速した。雇用創出ペースは3か月ぶりの低水準に鈍化した。依然として調査史上平均を上回った。一部の企業は、従業員の離職や欠員補充の難しさが全体的な雇用の伸びを抑制したと指摘した。

新規受注の増加に雇用拡大の鈍化が重なり、2月は受注残がさらに積み上がった。受注残は着実なペースで増加し、2023年6月以来の速さとなった。

価格データは、2月に購買コストがより急激に上昇したことを示し、インフレ率は調査史上平均値を大幅に上回った。また、より多くの



本調査データ集計期間: 2026年2月9日~2月24日

出所: S&PグローバルPMI、内閣府 (S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス)
© 2026 S&P Global

コメント

Annabel Fiddes, S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス、エコノミクス・アソシエイト・ディレクター

「日本のサービス業では売上高がほぼ2年ぶりの速さで増加し、2月も引き続き堅調なペースで拡大した。

製造業の堅調な業況と合わせると、PMIデータは日本の民間企業がほぼ3年ぶりの速さで拡大していることを示している。

業務量の増加は、特にサービス業で稼働能力の負荷となり、受注残が再び堅調に増加した。これを受け、製造業とサービス業はともに2月も引き続き雇用を拡大した。しかし、企業が人手不足やコスト圧力上昇に直面する中、採用ペースは数年ぶりの高水準だった1月から減速した。

全体として、日本民間企業の購買コストは前月を上回り、かつ歴史的にも急速な勢いで上昇した。しかし、需要環境の改善を背景に、企業はこうしたコスト上昇分を顧客に転嫁しやすくなったと感じ、販売価格はほぼ12年ぶりの速いペースで上昇した。」

企業がコスト上昇分を顧客に転嫁しようとする中、サービス単価は2014年4月以来最も大幅に上昇した。

今後1年間の事業活動見通しに対する景況感は、2月に日本のサービス業全体で改善した。多くの企業が顧客需要の増加が続く」と期待を寄せるなか、新たな設備投資も見通しを押し上げた。

S&Pグローバル 日本複合PMI®

日本の民間企業の事業活動、過去33か月で最も速いペースで拡大

S&Pグローバル日本複合PMI生産高指数は、2026年初頭の53.1から2月は53.9に上昇し、日本の民間企業全体の生産高が堅調かつ一段と急速なペースで増加したことを示した。特に、増加ペースは2023年5月以来最も急速だった。基礎データによると、サービス業の事業活動が引き続き堅調に拡大するとともに製造業の生産高が著しく速いペースで増加した。複合新規受注も過去33か月で最も力強いペースで増加し、製造業とサービス業の売上高とともに堅調なペースで成長した。一方、総新規輸出受注は、主として製造業製品に対する外需の改善により8年ぶりの速いペースで増加した。2月の日本民間企業の雇用増加ペースは鈍化したものの、依然として堅調なペースを維持した。企業が購買コストのさらに急激な上昇を示唆する一方、販売価格は2024年5月以来最も大幅に上昇した。

調査手法

S&Pグローバル日本サービス業PMI®は、S&Pグローバル・インクがサービス業約400社からの調査回答をもとにまとめている。対象セクターには消費者サービス（小売以外）、運輸、情報通信、金融、保険、不動産、ビジネスサービス等が含まれます。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。データ収集は2007年9月に開始されました。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数（ディフュージョン・インデックス）を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数はサービス業事業活動指数です。これは、事業活動量の前月比での変化についての回答から算出する拡散指数（ディフュージョン・インデックス）です。サービス業事業活動指数は製造業の生産高指数に匹敵します。「サービス業PMI」と表現されることもありますが、製造業の主要指数のPMIと同列のものではありません。

複合生産高指数は、製造業生産高指数とサービス業事業活動指数の加重平均です。加重値は、GDP公式データに従った製造業とサービス業の相対的規模を反映したものとなっています。複合生産高指数は「複合PMI」と表現されることもありますが、製造業の主要指数のPMIと同列のものではありません。

基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調査要因は必要に応じ修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

PMI調査方法の詳細は、economics@spglobal.comへお問い合わせください。

免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はS&Pグローバル・インク及び/又はその関連会社に帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、S&Pグローバル・インクから事前の承諾がない限り認められません。S&Pグローバル・インクは、当レポートの内容またはそこに含まれる情報（「データ」）、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱落、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいづれをも負うものでなく、またこれにもとづきとらたれたいかなる行為についても責任、義務、負担のいづれをも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、S&Pグローバル・インクは一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はS&Pグローバル・インクの商標又は登録商標、もしくはS&Pグローバル・インク及び/又はその関連会社に使用が許諾されたものです。

ここに提供するコンテンツは、S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンスが公開しています。S&Pグローバル・インクの別部門であるS&Pグローバル・レーティングが公開するコンテンツではありません。関係当事者から書面による事前の許可がない限り、形態を問わず、評価を含むいかなる情報、データ、資料（「コンテンツ」）の複製を禁止しています。関係当事者、関連会社、サプライヤー（「コンテンツプロバイダー」）は、コンテンツの正確性、妥当性、完全性、適時性、可用性を保証しません。また、いかなる間違いや脱落（疎漏など）、あるいは当該コンテンツの使用により生じた結果に対して責任を負いません。コンテンツのいかなる使用に関連するあらゆる損害、コスト、費用、弁護士費用、または損失（喪失利益や逸失利益、機会費用など）について、コンテンツプロバイダーは一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。



お問い合わせ

Annabel Fiddes
エコノミクス・アソシエイト・
ディレクター
S&Pグローバル・マーケット・
インテリジェンス
電話：+44-1491-461-010
annabel.fiddes@spglobal.com

Eri Amano
アジア太平洋シニア・
コミュニケーション・マネージャー
電話：+81 (0) 80 3174 7658
eri.amano@spglobal.com
press.mi@spglobal.com

S&Pグローバルからお届けするニュースリリースの配信停止をご希望の場合は、press.mi@spglobal.com宛てにその旨お知らせください。当社プライバシーポリシーは、[こちら](#)からお読みいただけます。

S&Pグローバルについて

S&Pグローバル・インク (NYSE: SPGI) は、必要不可欠なインテリジェンスを提供します。適切なデータ、専門知識、コネクテッドテクノロジーの提供により、政府機関、企業、個人が確信を持って意思決定を行うことを可能にします。新規投資案件の評価から、サプライチェーンにおけるESGやエネルギー・トランジションまで、世界中において新たな機会を発掘し、課題を解決し、成長を加速させます。

世界の資本市場、コモディティ市場、自動車市場において、信用付け付、ベンチマーク、分析、ワークフローソリューションを提供し、グローバルのお客様の成長発展を支援します。詳細についてはウェブサイトをご覧ください：www.spglobal.com

PMI (購買担当者指数) について

「購買担当者指数™ (PMI)™」調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、www.spglobal.com/marketintelligence/en/mi/products/pmiをご覧ください。